

東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会
平成 23 年度 第 1 回委員会

議事録

出席者：楢田，朱牟田，庄司，鈴木，永田，宮島，丸山（議事録）

1. 日時：2011 年 11 月 18 日（金） 12:20～14:30

2. 場所：東京大学生産技術研究所 An405

3. 議事次第

1) 委員長挨拶

・楢田委員長から委員会の活動趣旨，内容について説明があった。

2) 東日本大震災におけるライフライン被害データに関する情報交換

・ガス，水道管の被害データについて，現段階における業界内のとりまとめ状況について報告があった。とくにガスの被害データを協会から入手するのは難しいのではないかとこの意見があった。

・電力や通信は，公開されているデータを GIS 化して，アーカイブにする程度になるのではないかと。

・学会の委員会として入手可能と思われるデータベースの内容について議論し，被害位置のポイントデータや供給停止ブロックのポリゴンデータなどが中心で，配管状況（インベントリー）などの提供を受けることは難しい場合もあるのではないかとこの意見があった。

・東北地方太平洋沖地震での津波浸水域データベースの公開の仕組みについて，庄司委員より説明があり，本委員会のデータベース公表の際の参考になるのではないかとこの意見があった。

・データの公開方法について，意見交換があった。データベースを公開する際に著作権を考慮する必要があり，慎重に行う必要があるとの意見があった。

・埋設管被害のポイントデータを KML ファイルとして公開するのはどうかという意見があったが，SHP ファイルでも問題ないのではないかとこの意見もあり，データベースを公開できる時期に再度議論することとなった。

3) 今後の方針

・実際に委員会名で福島県いわき市にデータ提供を申し出てみる。

・データ提供の申請書のひな型を作成する。